

結党50年

# 生活者目線で再出発

公明党県本部「豊橋セミナー」

公明党県本部(荒木 豊橋市広小路の蒲郡信  
清寛代表)は24日夜、用金庫豊橋支店で「新

春豊橋セミナー」を開いた。党結党50周年を迎え、生活者目線で次の50年に向けて再出発していくことを申し合わせた。

荒木代表は、政府与党として4月の消費増税にあわせて福祉給付金、子育て応援手当を行っていくことや、高齢化社会の到来に備えて地域包括ケアシステムが始まっていくことを報告。「生活に関して将来を見据えた対策に力を注ぐことも

に、中小企業を応援して産業振興にも取り組んでいく」と語った。

渡会克明県議は、地震対策として緊急避難道路となる幹線道路沿いにある建物の耐震診断義務化への取り組みなどを紹介。尾林伸治、沢田都史子、宮澤佐知子の3市議が市政報告をした。

(安藤聡)

国政報告をする荒木代表  
表＝蒲郡信用金庫豊橋支店で

